

| | | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-----------|-------------------|-----|
| 講習名 | 言語・コミュニケーション発達の理論に基づいた 障害がある子どもの指導の実際 | | 講習 レベル | 応用 (学部3年～4年相当) | |
| 授業形態 | 動画視聴・個人学習 | 時間数 | 6時間 | 定員 | 80名 |
| 本学発送予定日 | 資料等本学発送予定日 令和4年8月29(月) | 受講 対象職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| 返送締切日 (必着) | DVD等返送締切日 令和4年9月22日(木) | 主な 受講対象者 | 全校種 | | |
| 担当講師 | 樋口 和彦 (広島修道大学人文学部 教授) | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 幼児・児童・生徒の言語・コミュニケーションの変容過程を理解する。 (2) 幼児・児童・生徒が有する課題を学習・発達の視点から評価することができる。 (3) 理解した心理・言語の知識に基づいて、障害がある子どもの具体的な指導方法を考えることができる。 | | | | |
| 講習の内容 | <p>特別支援教育対象の幼児・児童・生徒が、特別支援学校、特別支援学級のみならず通常学級にも多く存在する。学習指導要領の自立活動の内容は大綱的で、教師自身が障害の状態や発達の状況等に即して、具体的な指導内容を工夫することを求められる。子どもの発達や学習の状況の理解は、教師にとって重要な課題である。</p> <p>本講義では、まず、特別支援教育に活用できる理論として、健常児の言語・コミュニケーションに関する内容を中心に理解を深める。特に、健常児の対人関係や認知に関する学習・発達のメカニズム、環境との相互作用（社会・文化的・歴史的視点：子どもが活動したくなる環境の準備等）について詳細に説明する。</p> <p>次に、具体例の動画を視聴し、種々の障害の状況（発達障害から重度・重複障害の子どもまで）を分析し、学んだ理論の実際の指導への活用方法について検討する。</p> | | | | |
| 日程 | 80分間 | (動画視聴・課題) 主体的・対話的で深い学びの実現のために 「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善 | | | |
| ※個人ワークの進み具合によって、講習時間が多少変更となる場合があります。 | 80分間 | (動画視聴・課題) ことばの獲得と学習・発達の原理（学習の3側面） | | | |
| | 80分間 | (動画視聴・課題) 共同注意の発達と生態心理学からのアプローチ | | | |
| | 80分間 | (動画視聴・課題) 学習内容を活かして実際の指導を考える | | | |
| | | 「事後アンケート」記入 | | | |
| 講習に関して各自準備するもの | ・DVD(DVD-Video形式)の再生ができる機器。パソコンでの再生を行う際には、ソフトウェアが必要となる場合があります。 | | | | |
| 事前課題 | ・特になし | | | | |
| 留意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学発送予定日頃に資料、授業動画の入ったDVD、事後アンケートを、申込時記入されている住所宛てに送付します。(発送予定日を3日過ぎても届かない場合は問い合わせてください。)動画を視聴し、各自受講してください。 ・事後アンケート、DVDは講習終了後返送してください。なお、動画・資料の複製は認められません。 ・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。khiguchi@shudo-u.ac.jpまで、ご連絡ください。 | | | | |